

【リンクはご自由にお貼りください】

【有償配布 及び Web（ホームページ、ブログ、facebook 等）へのアップロードや転載はおやめください】

・「結婚の自由をすべての人に」九州訴訟（福岡地裁）・第1回期日（20191202）で提出された書面です。

令和元年（ワ）第2827号 「結婚の自由をすべての人に」訴訟事件

原告 こうすけ、まさひろ

被告 国

原告意見陳述要旨

2019（令和元）年12月2日

福岡地方裁判所 第6民事部 御中

原 告 こうすけ

記

1. 子どもの頃の気づき

私は、こうすけと言います。

パートナーは2歳年上の、まさひろさんです。

小学2年のとき、男の子を目で追っている自分に気がつきました。

その頃、同性愛者は笑いものでした。芸能人が、ホモやオカマのキャラクターに扮し、その物まねが大流行していました。

私は、「気のせいかもしれない」と混乱しました。

同時に、なにか本能に近いようなところで、「子どもの世界で生き抜いていくために、隠しとおさないといけない」と理解していました。

少しでも油断すると、「お前オカマなの？」と、からかわれました。

ギクッと固まらずに、「違う」と即答すること。

興味がなくても、女の子のアイドルについて語ること。

男の子らしい会話を学習し、練習して、毎日、嘘の自分を作り上げていきまし

【リンクはご自由にお貼りください】

【有償配布 及び Web（ホームページ、ブログ、facebook 等）へのアップロードや転載はおやめください】

・「結婚の自由をすべての人に」九州訴訟（福岡地裁）・第1回期日（20191202）で提出された書面です。

た。

けれども、どれだけ努力をしても、女性に対して、恋愛感情も、性的な興味も、持つことができませんでした。

2. はじめての交際

大学生になって、年上の男性と交際しました。

彼も、自分のセクシュアリティを完全に隠している人でした。

交際3年目に、母親にだけカミングアウトをし、ほんの少しだけ心の安定を得ることができました。

それでも、母以外の家族にも親友にも、恋愛話も、悩み事の相談もできない関係は辛いものでした。

自分たちの関係を隠すために、何重もの嘘を張り巡らせ、つじつまを合わせることに頭をフル回転させる日々でした。

私は、煮詰まり、閉鎖的になり、やがて私達の関係は終わってしまいました。

3. まさひろさんとの出会い

2017年、まさひろさんとの交際が始まりました。

とても誠実で、あたたかい人でした。

交際当初に、まさひろさんが友人に、私のことを「彼氏」と紹介した時の驚きを、今でも忘れることができません。

こんなにサラッと「彼氏」と言える人も、それを普通に受け入れてくれる人も、私は見たことがなかったからです。

その年の6月には、まさひろさんと一緒に住みはじめ、「男友達どうし」という演技のいらぬ、安全な場所と時間を手に入れて、涙がでるほど幸せでした。

それでも、私自身のカミングアウトにまでには至らず、私は、秘密を守り続けました。

【リンクはご自由にお貼りください】

【有償配布 及び Web（ホームページ、ブログ、facebook 等）へのアップロードや転載はおやめください】

・「結婚の自由をすべての人に」九州訴訟（福岡地裁）・第1回期日（20191202）で提出された書面です。

4. 自宅の購入

その年の11月、私の父が、がんで余命宣告を受けました。

これを機に、私達は、自分たちの死や、老後について、より現実的に考え、「将来にむけて備えをしたい」と思うようになりました。

その一つとして、私達は、2018年の3月、住宅ローンを組んで、小さな家を買いました。

同性パートナーでも契約できるのか、理解のある会社や担当者なのか、むやみに傷つけられたりしないのか。

毎回悩み、緊張しながら事情を説明し、相手の対応に一喜一憂しました。

最終的に家を買えたことは嬉しいことでしたが、2人分の所得を前提にした住宅ローンを組むことはできず、家もローンも、私1人の名義にせざるをえませんでした。

この時期に、報道で、50年近く同居をした同性パートナーの1人が亡くなり、遺された一人が、相続人から不動産の明け渡しを求められたということを知り、自分達のこととして胸につきささりました。

5. パートナーシップ制度

その年の6月、私達は福岡市でパートナーシップ宣誓をしました。

嬉しさを感じつつも、「あくまで法律上の関係ではない」ということへの不安も感じました。

6. 父へのカミングアウト

その年の8月、私の父が他界しました。

亡くなる数日前、私は、会話もままならなくなった父の手をとって、カミングアウトをしました。

【リンクはご自由にお貼りください】

【有償配布 及び Web（ホームページ、ブログ、facebook 等）へのアップロードや転載はおやめください】

・「結婚の自由をすべての人に」九州訴訟（福岡地裁）・第1回期日（20191202）で提出された書面です。

病床の父を苦しめないかと悩みましたが、「本当の自分をわかってほしい」という、湧き上がる気持ちをおさえられませんでした。

父は、私の手をギュッと握り返してくれました。

7. 父の相続

その後の父の相続をとおして、私は、「法律上の立場がない家族は、法律上は他人と同じだ」と、あらためて思い知りました。

この時期に、私達は、苦勞をしながら、互いを守るための生命保険や自動車保険の契約をしました。

8. 婚姻届の提出

今年の7月5日、私達は婚姻届を提出しました。

受理されたら、「法律上は他人」という切なさも、生活上のたくさんの不安や不便も、全て解決できるように思えたからです。

「きっと受理されないんだろう」とわかっていました。

それでも、婚姻届を書く時、私は嬉しかったです。

自分の人生で、好きな人との婚姻届を書く日がくるなんて、考えたこともなかったからです。

緊張して震える手で、一生懸命に書いて、大切な人に証人を頼みました。

届出後は、勇気を振り絞って、顔をだして取材を受けました。

顔を出すことについて、何日も悩みましたが、「声をあげたくてもあげられない人が沢山いる」と思うと、「勇気をだして声をあげて、一歩、前に歩きだすべきだ」と思いました。

取材の時は、みんなが優しく、熱心に応援してくれました。

泣いている人までいました。

【リンクはご自由にお貼りください】

【有償配布 及び Web（ホームページ、ブログ、facebook 等）へのアップロードや転載はおやめください】

・「結婚の自由をすべての人に」九州訴訟（福岡地裁）・第1回期日（20191202）で提出された書面です。

9. 周りの人たちに受け入れられたこと

そうやって励まされても、その日の夜、私は、緊張で寝付けませんでした。

明日から、みんなは、自分を相手にしてくれるのか。

無視をされたり、笑われたりしないのか。

親族や、友達や、仕事を失わないのか。

不安が渦巻いて、大量の汗をかきました。

拭いても拭いても、額も、手も、じっとりしていました。

7月6日の朝、人生で一番の勇気をふりしぼって、職場の入口をくぐりました。

すると、何人もの人が、私に声をかけてくれました。

「見たよ」、「すごいね」、「がんばってるね」、「応援してるよ」。

あたたかい言葉が続き、私はその都度、泣かないだけで必死でした。

昔の友達からは、「誇りに思うよ」と。

私達のことを兄弟だと信じていた、近所のおばあちゃんは、「がんばりーね」と。

よく行くコンビニエンスストアの店員さんは、「いつも一緒におるもんね、応援しとるよ」と。

周りの人たちが、自然に、あたたかく、私達を受け入れてくれたことに、私は驚き、涙が出ました。

10. 私の思い

私達は、同じ家で寝起きをし、食事をし、出勤し、犬の散歩をし、時には遊び、時には喧嘩もする、ごく普通の家族です。

私は、自分が死ぬ時は、まさひろさんにそばにいてほしいし、自分が死んだ後も、まさひろさんには幸せに生きてほしい。

まさひろさんに何かあったら、私が全力で、彼の人生を看取りたい。

世間では、そう思った人達が、結婚をするのではないのでしょうか。

【リンクはご自由にお貼りください】

【有償配布 及び Web（ホームページ、ブログ、facebook 等）へのアップロードや転載はおやめください】

・「結婚の自由をすべての人に」九州訴訟（福岡地裁）・第1回期日（20191202）で提出された書面です。

私達が結婚できないのは、なぜでしょうか。

どこで、誰が、何のために、結婚をさせない、と決めているのでしょうか。

人を好きになり、ともに生涯をすごし、

法律上も家族でありたいと願うことに、

相手が異性か、同性か、ということで、何か違いがあるのでしょうか。

私の、苦しかった子ども時代、嘘で塗り固めた青春時代、親にさえ、死別の直前まで本当のことを言えない人生。

そこには、「同性愛なんて気持ち悪い」、「同性愛者の結婚なんて認めなくていい」という制度や社会も、大きく影響をしていたのではないかと、今になって思います。

そんな制度や社会は、今すぐ、終わりにしてほしいです。

私達も、大切な社会の一員であること。

愛する人と家族になって生きていく権利は、誰にとっても大切に、法律で守っていくべきこと。

裁判所から、そう認めてもらいたいという一心で、30年近く守ってきた秘密をさらけだして、勇気をふりしぼって、私は、今日ここへ来ました。

私の気持ちを、ご理解いただけることを願って、私の意見陳述とします。

以 上